

2025年2月25日

株式会社 千葉銀行

株式会社タカマル鮮魚店向け「ちばぎんSDGsリーダーズローン」の取組みについて

千葉銀行(頭取 米本 努)は、株式会社タカマル鮮魚店(代表取締役 相原 正孝、本社:千葉県市川市)に対して、「ちばぎんSDGsリーダーズローン(サステナビリティ・リンク・ローン型)」を取り組みましたのでお知らせします。

「ちばぎんSDGsリーダーズローン」は、サステナビリティ経営を積極的に実践しようとする事業者さまが、事業規模や経営実態に合わせて有効な目標等を設定する融資制度です。

貸出先の株式会社タカマル鮮魚店は、東京都内と千葉県内にて、鮮魚を中心とした居酒屋「タカマル鮮魚店」を展開しています。豊洲市場の買参権を所有するグループ企業の株式会社鷹丸と連携し、新鮮な魚介類を適正価格で提供し続けることで、ビジネス客をはじめとする多くの固定客を獲得するなど、着実に業績を拡大しています。「魚の美味しさ、日本が誇る食文化を世界に発信する」という理念のもと、良質な食の提供を通じて、人々の豊かな食生活の実現に貢献しています。当社は、環境負荷の軽減に向けて、照明のLED化に取り組んでいます。また、本ローンの取組みを機に、自社が使用するプラスチック包装資材の削減を本格的に進めます。

今回、SDGs達成の取組みとして、売上高1億円あたりのプラスチック包装資材使用量の削減目標を策定しました。目標達成時には当行が金利を優遇することで、お客さまの目標達成に向けた動機付けを行い、お客さまのサステナビリティ経営を後押しします。

当行は今後もグループ一体となって、サステナブル・ファイナンスを提供することで、お客さまや地域社会のパートナーとして、社会・環境問題の解決に資する取組みを一層推進し、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

【案件概要】

貸出先	株式会社タカマル鮮魚店	資金使途	運転資金
契約締結月	2025年1月	融資金額	200百万円
融資形態	証書貸付	第三者評価機関	株式会社ちばぎん総合研究所

【本件のSPTs<sup>※1</sup>について】

設定内容	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
売上高1億円あたりのプラスチック包装資材使用量(kg/億円)	754.559	736.795	719.032	701.269
(参考) 2023年度比削減率 <sup>※2</sup>	▲2.3%	▲4.6%	▲6.9%	▲9.2%

※1 SDGs・ESG戦略における事業挑戦目標(サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット)

※2 2023年度(2023年10月~2024年9月)の売上高1億円あたりのプラスチック包装資材使用量772.322(kg/億円)

以上